

平成28年4月18日

福岡県議会議長 井上 忠敏 殿

九州の自立を考える会  
会長 藏内 勇夫

熊本地震等による被災地に対する救助及び支援の取組  
について(緊急提言)

熊本地方を中心として平成28年4月14日夜及び16日未明等に連続して発生した地震により、熊本県内で42名の方がお亡くなりになり、未だ数名の方の行方が判明していません。負傷者の数も広く九州各県にわたり1100人を超えています。

また、全壊400戸以上を含む建物の損壊は3000戸近くに及び、道路、鉄道、橋梁等の社会基盤も未曾有の被害を受け、被災者の救助や物流を阻害しています。

さらに、余震や今回の地震により誘発された新たな地震の発生も続き、家屋の倒壊等の被害拡大も危惧される中、11万人を超える住民が、避難所等で大変厳しく、不安な状況の下に生活されています。その救助には一刻の猶予もありません。

しかし、このような大規模かつ広域的な災害と甚大な被害を前にして、地元の県や市町村の対応に限界があることは明らかであり、国はもちろんのこと、被災地に近い周辺自治体の支援が不可欠です。

よって、貴職におかれては、九州各県議会議長会に対し、九州各県並びに九州各県議会が一体となって、適切な役割分担の下、迅速かつ効果的に被災者・被災地の救助及び生活支援を実施するとともに、今後の復旧・復興に向けた支援にも取り組むよう要請されることを、取り急ぎ、提言します。